

一人一人の個性を輝かせ、主体的に学ぶ子供の育成 ～つながる 挑む 考動する～



河内小だより



三次市立河内小学校 令和8年8・9月号

～真剣に考え、考動する“河内の平和学習”を受け継ぐ～



8月5日(水) 地域と小学生が合同で ～河内地区平和の集い～

当日は全校登校日とし、5・6年生は早朝より、地域の坂居さんに教えていただきながら育ててきた平和菊を摘み、献花の準備をしました。(写真左)

そして、第1部、「河内地区慰霊式典」に児童も参加し、慰霊碑へ平和菊を献花しました。(写真中)

校舎に戻ると、第2部、児童会主催の「平和を祈る集い2」を開催しました。遺族会代表の福島さんの戦時中の体験や平和への願いを聞いたり(写真右)、千羽鶴に結びりボンヘー一人一人が平和への願いや未来への思いを込めたメッセージを書いたりしました。

地域と合同で平和の集いを行うことで、小学生は、河内に灯る平和のバトンを受け継いでいます。



8月20日(木) ～広島平和公園にて～

三次市内で事件が起きたため8月6日の広島平和公園訪問は、8月20日(木)に延期しました。

平和公園を訪れた5・6年生3名は、原爆死没者慰霊碑へ自分たちが育ててきた平和菊を献花(写真左)したり、原爆の子の像へ、全校児童が一羽一羽に平和への願いを込めて折った千羽鶴を奉納(写真中)したりしました。さらに、外国の方へインタビューする活動(写真右)も行い、「平和」は世界共通の願いであることを受け止めました。

十年以上続く平和公園の訪問は、今年度も、多様な人と関わり、平和についての考えを深め、考動する、よき学びの機会となりました。

7月・8月も行事が盛りだくさんでした！



7月9日(木)ぶどうの袋かけと稲

1～4年生は辰巳農園にて、ぶどうの一房一房に袋を掛ける作業を体験しました。また、5月に植えた稲の苗を見に行くと、苗は青々と元気に育っていました。ぶどうも稲も、無事、実りの秋を迎えられることを願って帰校しました。



7月15日(水)防犯教室

夏休みを前に、「一人で夜間に出歩かない」「川で遊ぶ際は必ず大人と一緒に行動する」ことの大切さや、自転車に関する法律の変更についてのお話を聞きました。



7月15日(水) 国内トップチームによるバドミントン教室

国内バドミントン1部リーグ所属の広島ガスの選手を講師として、バドミントン教室を行いました。模範プレーで披露された力強く正確なショットに圧倒されました。グリップの握り方や基本的な打ち方を一つ一つ丁寧に教えていただいた全校児童は、バドミントンの魅力を知り、心地よい汗をかきました。



7月17日(金)美術鑑賞

奥田元宋・小由女美術館にて、身近な日用品や食べ物を別のものに見立てて作られたユニークな作品を、驚きと発見の連続で鑑賞しました。

【御礼】

8月23日(日)、地域・保護者の皆様に、運動場等を整備していただきましたこと、厚く御礼申し上げます。



7月31日(金) わくわく体験活動

5・6年生は、三次市の推進事業である「三次の豊かな自然を味わう体験充実活動」を、作木カヌー公園で行いました。

午前中は、カヌー体験に挑戦しました。インストラクターの先生にパドルの動かし方や方向転換のコツを教えていただきながら練習を重ねると、少しずつ思い通りにカヌーを進められるようになりました。

午後は、川の滑り台で水しぶきを上げたり、沢を歩いて魚探しに挑戦したりしました。

活動を終えた子供たちからは、「三次の自然を大切にしたい」「三次のことがもっと好きになった」という感想が聞かれました。